

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,318.8千人、「外来」7,238.4千人である。

(1) 施設の種類・性・年齢階級別

「入院」1,318.8千人について、施設の種類別にみると「病院」1,273.0千人、「一般診療所」45.8千人、性別にみると「男」603.8千人、「女」715.1千人、年齢階級別にみると「65歳以上」937.3千人、「75歳以上」669.4千人となっている。

「外来」7,238.4千人について、施設の種類別にみると「病院」1,641.9千人、「一般診療所」4,233.0千人、「歯科診療所」1,363.4千人、性別にみると「男」3,131.0千人、「女」4,107.3千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,510.2千人、「75歳以上」1,895.1千人となっている。(表1、統計表1)

表1 年齢階級別にみた施設の種類別推計患者数

(単位:千人)

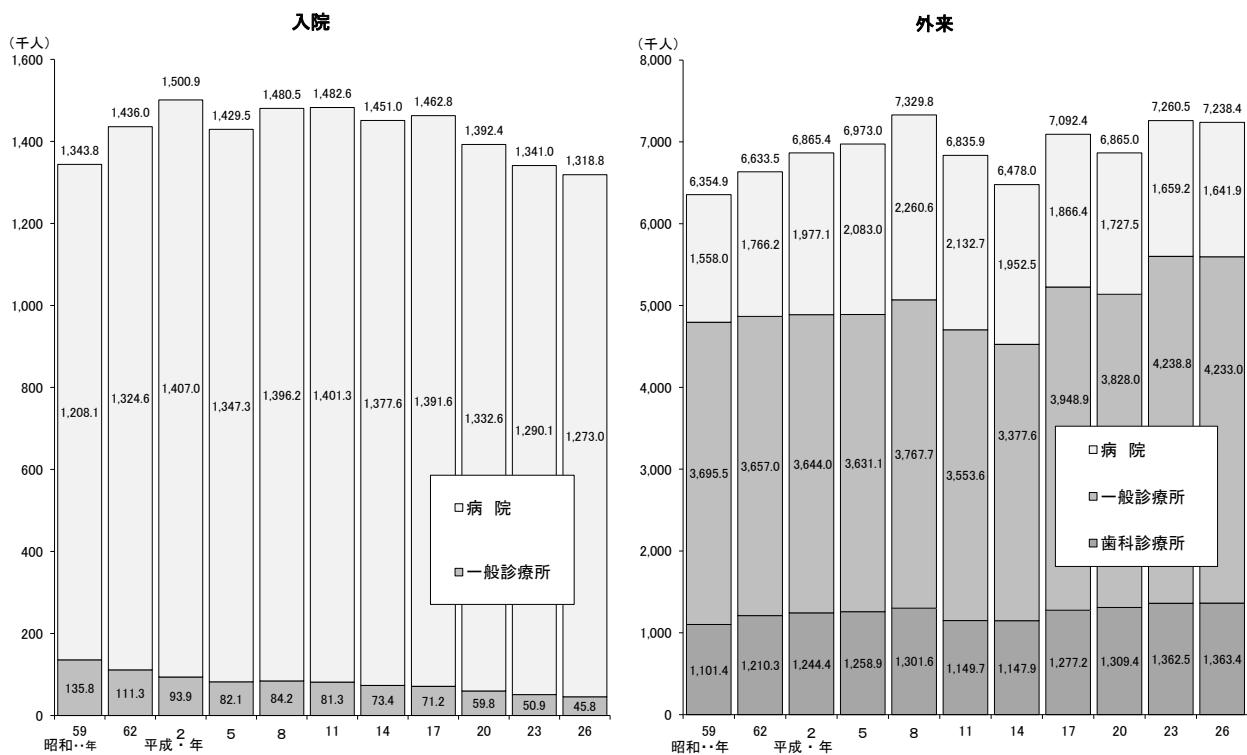
平成26年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 318.8	1 273.0	45.8	7 238.4	1 641.9	4 233.0	1 363.4
男	603.8	589.6	14.2	3 131.0	769.1	1 761.1	600.8
女	715.1	683.4	31.7	4 107.3	872.8	2 471.9	762.6
0 歳	10.8	10.4	0.4	68.3	12.6	55.6	0.0
1 ~ 4	7.1	7.1	0.1	284.3	34.3	232.2	17.7
5 ~ 9	4.9	4.9	0.0	234.7	25.6	157.1	52.0
10 ~ 14	5.3	5.2	0.0	151.3	20.7	99.0	31.6
15 ~ 19	7.0	6.8	0.2	116.3	19.3	72.3	24.7
20 ~ 24	10.2	9.5	0.7	138.9	23.8	81.0	34.1
25 ~ 29	16.1	14.3	1.8	181.4	34.8	105.7	40.9
30 ~ 34	22.1	20.0	2.1	230.4	46.0	128.7	55.6
35 ~ 39	26.3	24.8	1.5	284.4	58.8	156.7	68.9
40 ~ 44	32.3	31.8	0.6	331.2	72.1	180.8	78.3
45 ~ 49	36.8	36.2	0.6	329.5	74.8	173.3	81.3
50 ~ 54	46.0	45.3	0.7	363.4	84.1	191.7	87.6
55 ~ 59	59.1	58.2	1.0	410.3	100.8	213.6	96.0
60 ~ 64	95.6	94.1	1.5	585.0	146.2	306.7	132.1
65 ~ 69	123.6	121.0	2.6	760.6	190.6	409.3	160.7
70 ~ 74	144.3	141.1	3.2	854.5	213.0	485.2	156.3
75 ~ 79	165.2	160.5	4.7	777.2	197.9	463.8	115.4
80 ~ 84	188.9	181.9	7.0	613.8	158.1	381.6	74.1
85 ~ 89	170.9	162.3	8.6	348.3	86.9	225.8	35.7
90歳以上	144.4	136.1	8.4	155.8	38.7	101.8	15.3
不 詳	1.9	1.7	0.2	18.9	2.8	11.1	5.1
(再 揭)							
65歳以上	937.3	902.8	34.5	3 510.2	885.3	2 067.5	557.4
75歳以上	669.4	640.7	28.7	1 895.1	481.6	1 173.0	240.5

推計患者数の年次推移をみると、入院では平成 20 年から減少しており、外来では平成 17 年からほぼ横ばいとなっている（図 1、統計表 1）。

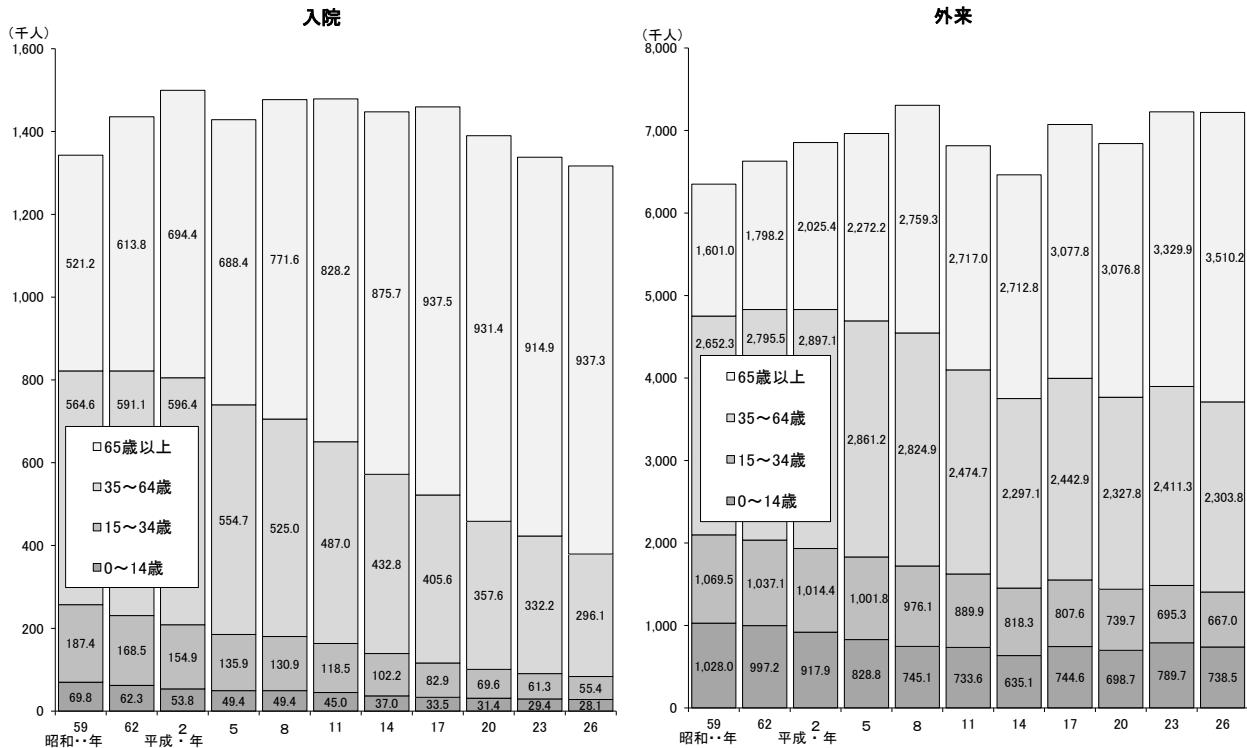
年齢階級別にみると、入院では「0～14 歳」「15～34 歳」「35～64 歳」は減少傾向、「65 歳以上」は増加傾向となっており、外来では「65 歳以上」は増加傾向となっている（図 2、統計表 1）。

図 1 施設の種類別にみた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

図 2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(2) 傷病分類別

入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「V 精神及び行動の障害」265.5千人、「IX 循環器系の疾患」240.1千人、「II 新生物」144.9千人となっている。

外来患者では、多い順に「X I 消化器系の疾患」1,310.0千人、「IX 循環器系の疾患」933.0千人、「X III 筋骨格系及び結合組織の疾患」877.8千人となっている。(表2、統計表2、3)

表2 傷病分類別にみた施設の種類別推計患者数

(単位:千人)

平成26年10月

傷 病 分 類	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診療所	総 数	病 院	一 般 診療所	歯 科 診療所
総 数	1 318.8	1 273.0	45.8	7 238.4	1 641.9	4 233.0	1 363.4
I 感染症及び寄生虫症	20.7	20.3	0.4	173.3	41.7	131.6	·
結核 ウイルス肝炎	(再掲)	3.4 1.4	3.4 1.3	0.0 0.1	1.7 28.3	1.5 14.0	0.2 14.3
II 新生物	144.9	143.2	1.7	231.6	187.3	44.3	·
悪性新生物 胃の悪性新生物 結腸及び直腸の悪性新生物 肝及び肝内胆管の悪性新生物 気管、気管支及び肺の悪性新生物 乳房の悪性新生物	(再掲)	129.4 13.5 18.9 6.9 18.8 5.4	127.9 13.4 18.7 6.8 18.7 5.3	1.5 0.2 0.3 0.1 0.1 0.1	171.4 19.2 28.0 5.5 16.1 24.3	146.5 14.9 22.9 4.5 14.3 21.5	24.8 4.3 5.1 1.0 1.8 2.8
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.3	6.1	0.2	21.6	10.4	11.2	·
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	33.0	31.6	1.3	437.0	131.9	305.1	·
糖尿病 高脂血症	(再掲)	20.9 0.3	20.0 0.2	1.0 0.1	222.3 143.7	77.6 21.7	144.7 122.1
V 精神及び行動の障害	265.5	264.3	1.3	257.7	110.9	146.9	·
血管性及び詳細不明の認知症 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	(再掲)	29.8 165.8 28.8	29.3 165.6 28.4	0.5 0.1 0.4	11.9 69.7 83.4	3.6 44.7 27.3	8.3 25.0 56.1
VI 神経系の疾患	122.2	119.5	2.7	173.0	69.3	103.7	·
アルツハイマー病	(再掲)	47.0	45.8	1.2	45.1	14.1	30.9
VII 眼及び付属器の疾患	11.5	10.2	1.3	337.9	56.9	280.9	·
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.5	2.4	0.1	100.5	15.2	85.3	·
IX 循環器系の疾患	240.1	230.4	9.7	933.0	236.3	696.7	·
高血圧性疾患 心疾患(高血圧性のものを除く) 脳血管疾患	(再掲)	6.4 59.9 159.4	4.8 57.4 154.9	1.6 2.5 4.6	671.4 133.9 94.0	104.6 68.2 44.7	566.8 65.7 49.2
X 呼吸器系の疾患	90.7	88.1	2.6	668.4	91.6	576.8	·
肺炎 慢性閉塞性肺疾患 喘息	(再掲)	34.6 7.9 3.8	33.3 7.6 3.6	1.3 0.4 0.2	8.2 22.0 127.6	3.9 8.8 23.7	4.3 13.3 103.9
X I 消化器系の疾患	65.9	63.9	2.0	1 310.0	115.9	174.4	1 019.6
う蝕 歯肉炎及び歯周疾患 肝疾患	(再掲)	0.1 0.2 8.0	0.1 0.2 7.7	0.0 - 0.3	283.6 444.7 32.6	3.4 9.5 12.1	276.8 428.2 20.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10.9	10.5	0.4	286.9	47.7	239.3	·
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	69.9	64.4	5.5	877.8	180.6	697.2	·
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	46.9	44.0	2.9	283.1	112.6	170.5	·
慢性腎不全	(再掲)	24.1	21.7	2.4	107.3	47.2	60.1
X V 妊娠、分娩及び産じょく	18.4	14.2	4.3	14.5	6.7	7.8	·
X VI 周産期に発生した病態	6.7	6.4	0.3	2.9	2.4	0.5	·
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.7	0.0	14.3	9.0	5.3	·
X VIII 症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16.0	15.0	1.0	76.9	38.2	38.7	·
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	131.3	124.5	6.8	306.5	102.5	201.2	2.7
骨折	(再掲)	91.4	86.4	5.0	92.0	39.9	52.1
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.7	8.3	1.3	731.7	74.9	315.8	341.1

(3) 在宅医療の状況

調査日在宅医療を受けた推計外来患者数は156.4千人であり、これを施設の種類別にみると、「病院」14.4千人、「一般診療所」101.5千人、「歯科診療所」40.6千人となっている。

在宅医療の種類別にみると、総数では「往診」34.0千人、「訪問診療」114.8千人、「医師・歯科医師以外の訪問」7.6千人となっている。(表3)

年次推移をみると、在宅医療を受けた推計外来患者数は平成17年までほぼ横ばいであったが、平成20年からは増加している(図3)。

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

年齢階級	推計外来患者数	(総数)			(病院)			(一般診療所)			(歯科診療所)					
		在宅医療	往診	訪問診療	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問	
総 数	7 238.4	156.4	34.0	114.8	7.6	14.4	4.4	7.2	2.8	101.5	29.6	69.1	2.7	40.6	38.5	2.1
0 ~ 14 歳	738.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	-
15 ~ 34	667.0	3.3	0.6	2.5	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	0.8	0.4	0.3	0.1	2.2	2.2	-
35 ~ 64	2 303.8	15.3	3.7	9.8	1.8	2.4	0.7	0.5	1.2	6.0	2.9	2.5	0.6	6.8	6.8	0.1
65 歳 以上 (再掲)	3 510.2	137.1	29.3	102.2	5.5	11.5	3.5	6.6	1.4	94.0	25.9	66.1	2.0	31.5	29.5	2.0
75 歳 以上	1 895.1	121.5	26.2	90.7	4.6	9.8	2.9	6.0	0.9	84.8	23.3	59.6	1.8	26.9	25.0	1.9

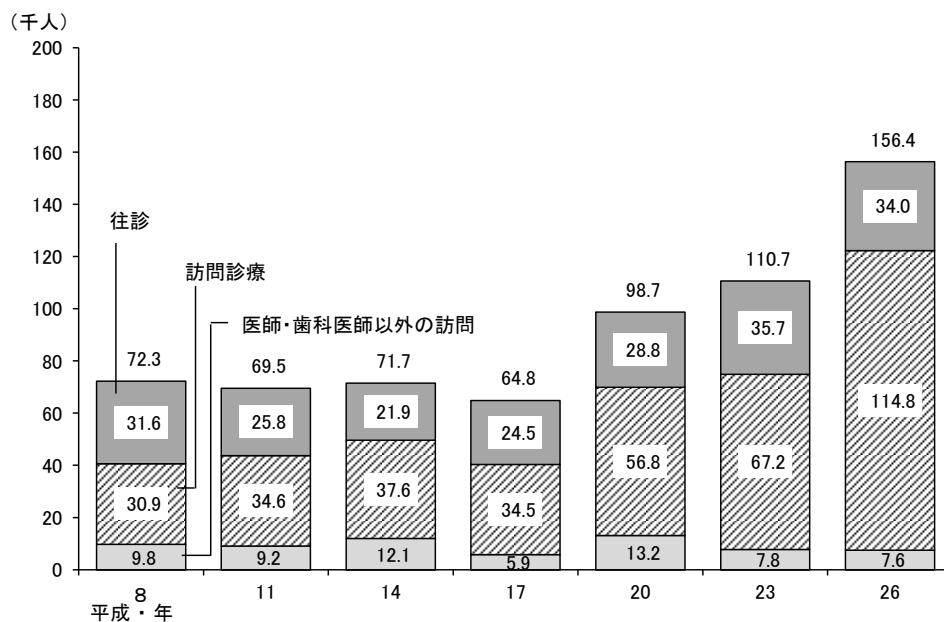
注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 「往診」とは、患者(介護老人保健施設等を含む。以下同じ。)の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。

3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。

4) 「医師・歯科医師以外の訪問」、「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

図3 在宅医療を受けた推計外来患者数の年次推移

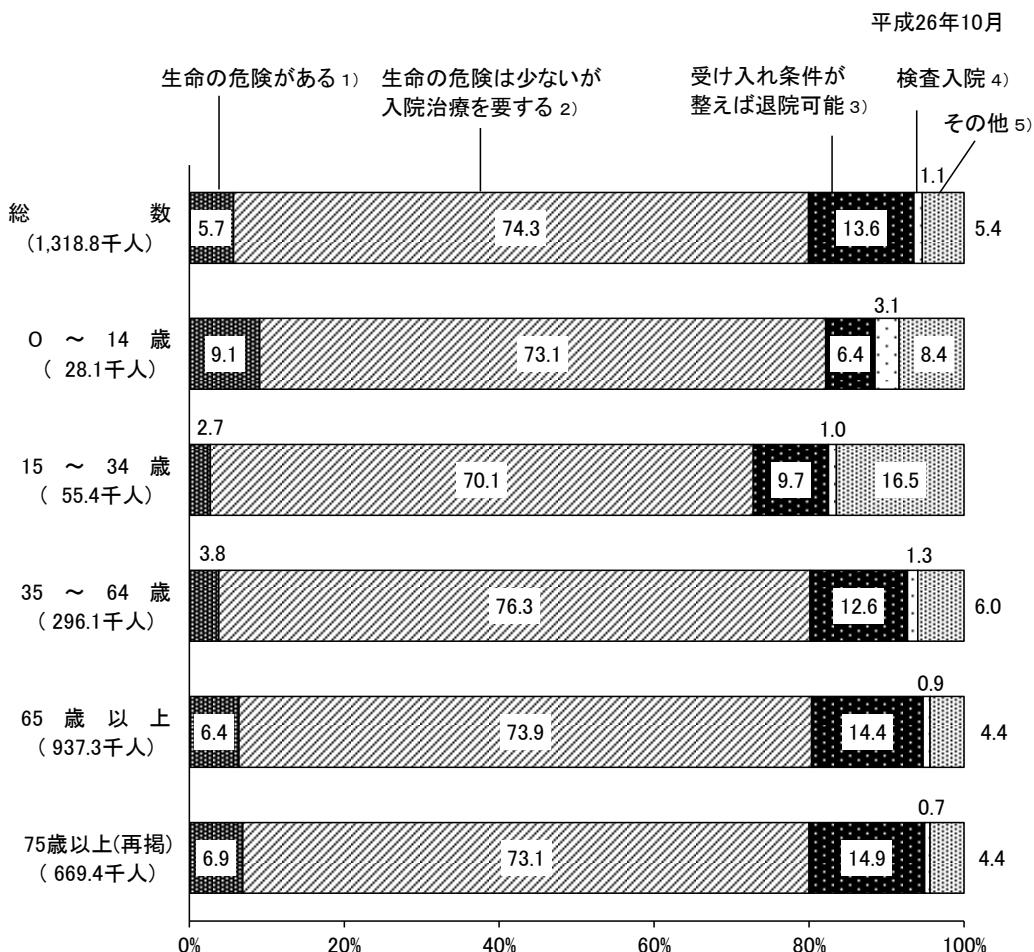


注：平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況をみると、「生命の危険がある」5.7%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」74.3%、「受け入れ条件が整えば退院可能」13.6%、「検査入院」1.1%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い高くなっている。（図4）

図4 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1)「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2)「生命の危険はないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3)「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4)「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的な検査のための入院患者を含む。
 5)「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
 6) () 内は、推計入院患者数である。